



テクニカルインフォメーション

## 各種セラミック材料の特徴と選択について



弊社でお預かりするクラウンブリッジやインレーのケースでは、ほとんどすべてがセラミック材料をご指定いただいております。

そのセラミック材も大きく分けて、ジルコニア、ジルコニアフレームにポーセレンを焼き付けたジルコニアポーセレン、そしてニケイ酸リチウムガラスが主成分のセラミックを溶かして流し込むプレスセラミック(emax)の3つの選択肢からお選びいただいております。

ケースに応じた選択のため、それぞれの特徴とメリットを今一度ご紹介いたします。

**ジルコニア:**ジルコニウムの酸化物で、人工ダイヤモンドとも呼ばれる非常に硬いセラミックです。当初は臼歯のクラウンブリッジに使用されていましたが、昨今光透過性を持つ製品をラインナップされ、前歯にも応用されています。  
臼歯はもとより、前歯でもブリッジなどの強度が求められるケースへの使用がお勧めです。

**ジルコニアポーセレン:**上記ジルコニア材のフレームに、さらに光透過性が高いポーセレンを焼き付けることで、強度と審美性を併せ持つ補綴物の製作が可能になります。  
前歯部で、特に審美性を求められるケースにお勧めです。

**プレスセラミック(emax):**ジルコニアには強度は劣りますが、それでもポーセレンに対し約4倍の強度を持ち、光の屈折率も天然歯に近い材料です。  
歯質に囲まれ、周囲との調和が求められるインレーに最適です。